

令和4年度 第2回 大野市地下水対策審議会の概要

と き 令和4年11月28日(月)
午後1時30分～2時50分
ところ 大野市役所 大会議室

1. 開会

- ・委嘱状の交付
- ・市長あいさつ

2. 会長・副会長の選出について

会長に穴田吉晴委員、副会長に島田健一委員を選出

3. 議事

(報告事項)

・市民アンケート調査の結果について

事務局から資料1に基づき説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり(要旨)

○委員 : アンケート回答者の年齢層の分布を教えて欲しい。

⇒事務局 : 年齢については、制限をかけずに無作為抽出している。

また、アンケートの設問の中でも年齢についての記載はない。

・令和3年度記録的な地下水位低下の誘因について

事務局から資料2に基づき説明を行った。

なお、資料2については、精査をしてから公表を行う予定。

委員からの意見等は次のとおり(要旨)

○委員 : 報告事項となっているが、地下水対策審議会で審議せずに、報告書の公表を行うのか。

⇒事務局 : 報告書は、令和3年度の記録的な地下水位低下の誘因について、大野市が行った調査である。市民に対し広く周知したいと思っている。公表にあたっては、審議会委員の皆様のご意見をいただきたい。

○委員 : 長期的にみた地下水位の状況について、資料が過去10年分しかない。また、地下水位低下の最大の要因が小雨であるといいながら、降水量の要因が入っていない。もう少しデータを整理すべきである。

○委員 : 報告書が審議会に提出され、それを審議会が認めたという形にするのはいかがなものか。

○委員 : 令和3年度におこった地下水位低下の誘因についての報告なのであれば、短期的な部分だけ報告すればいい。長期的に見た地下水位の状況は、今回の目的ではないので、誤解をまねく部分は公表しなくてもいいのではないかと。

⇒事務局：地下水位と降水量の関係性については、もう少し資料をつけたい。また、可能な範囲で精査し、報告書の長期的な部分の記述については今後検討したい。

○委員：砂利採取について、上流域の掘削をした後は、地下水位についていい結果が出たという説明があったが、どの値と比較しているのか。

⇒事務局：12月と1月の水位差や月平均水位が高水位を維持している。

(協議事項)

・地下水位低下対応タイムラインの作成について

事務局から資料3に基づき説明を行った。

委員からの意見等は次のとおり（要旨）

○委員：タイムラインの表で、左上に25日や12日や6日の日数が記載されているが、その上の12月1日と何の関連性があるのか。

⇒事務局：注意報警報発令からの井戸枯れ発生までの日数ということで、その目安の日数を書いている。12月1日に発令基準が変わるので、このように記載している。

○委員：タイムラインという表現がわかりにくい。日本語でわかりやすく表現できないか。

⇒事務局：検討して修正したい。

4. 今後の予定について

⇒事務局：今年度の審議会は今回で終了。来年度以降は市民アンケートの結果を受けて、協力金制度や条例での新たな枠組みでの規制について議論したい。

5. その他

⇒事務局：前回、道の駅「越前おおの荒島の郷」前のラウンドアバウトの融雪装置について奥越土木事務所からご説明いただき、審議会の中で、使った地下水を地下に戻すような、取り組みがあるとよいのではないかというご意見をいただいた。奥越土木事務所からは、今後浸透ますをつけるという回答をいただいているので、報告させていただく。

6. 閉会

・副会長あいさつ